

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M344M101		看護学概説 (Introduction to Nursing)					コース共通専門分野								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態							
生命健康科学 コース選択、 臨床医工学コ ース必修	1	1	医学部先進医 療科学科	前期	火4	日本語		複数(共同)							
担 当 教 員	氏名 内川洋子、清村紀子、佐藤祐貴子、佐藤佑佳、廣田美咲、原田千鶴（非常勤） E-mail 未定 @oita-u.ac.jp 内線 5034														
授 業 の 概 要	本科目では、看護学の学問的基盤と実践の主要概念（人間・健康・環境・看護）を学ぶことで、保健・医療・福祉の場で連携・協働する看護専門職の役割や機能を理解することを目的とする。先進医療科学科の学生が本科目を受講することで、**自身の専門分野と看護学の関係性を捉え、多職種連携の視点を養う。**また、看護が対象とする「人」の捉え方やケアの概念を理解し、医療・福祉分野における相互の専門性を尊重した協働のあり方を考察する機会とする。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1	看護学の学問的基盤を理解し、看護実践における『人間』『健康』『環境』『看護』の主要概念について説明できる。						○								
目標2	看護専門職の活動領域を理解し、看護の独自性や他の医療職種との違いについて説明できる。						○								
目標3	保健・医療・福祉の場における看護専門職の役割を理解し、他職種との連携・協働の重要性を説明できる。						○			○					
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度（計10）								7			3				
授業の内容															
1	コースオリエンテーション・学び合う仲間と知り合う（自己紹介）														
2	看護という営みとその歴史（講義）														
3	看護の先人の考える「看護」(1) F.ナイチンゲール（講義・演習）														
4	生活統合体としての「人間」（講義・演習）														
5	多様な「健康」の概念と影響要因（講義演習）														
6	チーム医療と多職種連携・協働（講義演習）														
7	医療者と患者/クライアントのコミュニケーション（講義演習）														
8	医療職に求められる倫理 まとめ（講義）														
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
ラ ー ン グ の 方 法	A:知識の定着・確認	○	A：オンデマンド動画の活用、リフレクションシートを通じた学修の省エネ					工 夫 の 他 の	* Moodleの活用 看護学科との合同の回では、BAZZセッションやプレゼンテーションを通じた意見交換を行う						
	B:意見の表現・交換	○	察												
	C:応用志向		B：アイスブレイクセッション バズセッション・グループワークと発表												
	D:知識の活用・創造		表												
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修		教材動画の視聴や事前課題レポートの作成（8h）												
	事後学修		講義終了後のリフレクションシートの提出（8h）												
	想定時間合計														
教科書	F.ナイチンゲール著・湯沸ます他訳；看護の覚え書（第8版）現代社 2023 ISBN-13：978-4874741993														
参考書	配布資料や参考文献等の情報や動画の視聴等を必要に応じて予習する。														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	定期試験	50%	○	○	○							
	課題レポート	30%										
	毎回講義後のリフレクションシートの提出	20%	○	○	○							
注意事項	グループワークや意見交換の機会で、両学科の学生が専門性を活かした意見交換を促し、多職種連携の視点を考える機会となるよう努力する。											
備考	一部を看護学科「看護学概論」と合同で行う。											
リンク												
	URL											
担当教員の実務経験の有無	○											
教員の実務経験	看護師 清村紀子、内川洋子、佐藤祐貴子、佐藤佑佳、廣田美咲											
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○											
教員以外の指導に関わる実務経験者	山口育子氏 COML（コムル）での電話相談員・SP・SP等研修企画講師 原田千鶴 看護師											
実務経験をいかした教育内容	COMLでは、患者が自立・成熟し、主体的に医療参加することを目指し、患者・医療者双方のコミュニケーション能力を高める活動に取り組んでいる。その経験をもとに医療現場における良いコミュニケーションを築くための知識や態度を学ぶ											